

神奈川県ビリヤード協会 -総会 議事録-

2026.5.27 12:00~13:30 Zoom 会議



| 1

出席者：安藤・崎村・板橋・黒岩・田口・石井・杉万・荻原・持永
司会：石井健一

■ 議題

- 一 令和 7 年度決算報告
- 二 会計監査報告
- 三 令和 8 年度予算案
- 四 その他
追加報告事項
 - ・理事 崎村氏の辞任について
 - ・事務局および理事 石井氏の辞任について
 - ・会計監査 杉万氏の辞任について

1. 開会宣言（司会：石井）

定刻となり、事務局の進行により、令和 8 年度 神奈川県ビリヤード協会 定時総会を開会した。

2. 出席状況報告・総会成立確認（説明：石井）

総会開催にあたり、出席状況および規約に基づく定足数の確認を行った。

■ 発言内容

（石井）

本総会の総会員数は 44 名。

出席者は当時点で 9 名（安藤氏：2 店舗の会員議決権があり 10 名）、委任状提出 19 名、合計 29 名である旨を報告した。

また、議決権委任状況について説明が行われ、安藤氏が 16 名分の委任を受けていること、店舗保有分を含め 18 議決権を有していること等が共有された。その他、石井氏、崎村氏、板橋氏についても複数議決権保有状況の説明が行われた。

規約に定める過半数を満たしているため、本総会は有効に成立していることを報告した。

- ・出席 29（出席 + 委任）により、規約上の定足数を満たしていることを確認
- ・令和 8 年度定時総会の成立を確認

3. 議長選出（説明：石井）

■ 発言内容

（石井）

理事長、事務局、会計、会計監査は説明および質問対応を行う立場であるため、中立性確保の観点から議長を別途選出したい旨を説明した。

議長候補について推薦を募ったが特段の意見はなかったため、事務局推薦とすることについて確認を行った。その後、中立性確保の観点から、コンプライアンス担当理事である板橋氏を議長候補として推薦した。

（全員）

異議なし。

（板橋）

議長就任を了承した。

・議長として板橋克典氏を選出

4 議長挨拶・議事進行（議長：板橋）

議長に選出された板橋氏により、議事進行が開始された。

まず、資料②「加盟店舗および正会員一覧」について、事務局より変更点の報告が行われた。

■ 発言内容

（石井）

昨年度からの変更点として、バリーキングが退会したこと、メッカ横浜についてはオーナーが銘苅氏から榊原氏へ変更となったが、加盟店舗としては継続していることを報告した。

また、正会員一覧について、鯉沼拓也氏が新たに正会員となったことを報告した。

これにより、総会員数は 44 名となる旨を説明した。

（板橋）

本件は議案ではなく報告事項として取り扱う旨を確認し、続いて令和 7 年度決算報告へ進出した。

議題 1 令和 7 年度決算報告（説明：田口・石井）

令和 7 年度の収支決算について、総会資料③「令和 7 年 決算書」、資料④「令和 7 年 明細書」、資料⑤「令和 7 年 大会精算書」、資料⑥「令和 7 年 Jr.9 ボール大会精算書」に基づき、内容確認および質疑応答を行った。

■ 発言内容

（板橋）

決算書について、不明点や補足説明が必要な箇所を中心に確認する形で進行する旨を説明した。

出席者に対し、費目や数字に関する質問があるか確認した。

(田口)

予算額から決算額が大きく変わった主な項目として、事務局手当とホームページ費について説明した。

事務局手当については、当初予算 80,000 円に対し、事務局業務の負担増加を踏まえ、決算額が 190,000 円となった旨を説明した。

また、ホームページについては、これまでドメイン等の維持費が中心であったが、ホームページを作り直したため、約 70,000 円が追加で発生した旨を説明した。

(板橋)

ホームページ費 75,000 円について、毎年発生する費用なのか、初期費用が含まれているものなのかを確認した。

(石井)

ホームページ費 75,000 円については、新たにサーバーを構築し、ホームページをリニューアルしたことによる初期費用である旨を説明した。

令和 8 年度以降は、維持費として 7,000 円程度になる見込みであると説明した。

(板橋)

続いて資料④「令和 7 年 明細書」について確認を行った。

(田口・石井)

預り金について、L.A café より前年度分 5,000 円と今年度分がまとめて振り込まれたため、令和 8 年度分 10,000 円を預り金として処理した旨を説明した。

また、大会出場料について重複入金があったため、同様に預り金として処理し、今年度に返金した旨を説明した。これらの預り金処理は、現時点で完了していることを確認した。

(石井)

事務用品費の主な内容として、封筒、インク、印刷関係の消耗品等が増加していることを説明した。

また、事務作業効率化のために使用している AI 利用料も事務用品費に含まれている旨を説明した。

公益事業費については、講師料や交通費等の支出があり、NBA 助成金を活用している旨を説明した。

代表補助については、代表選手の宿泊費、交通費、エントリー費の負担が含まれている旨を説明した。

また、公益事業実施を目的とした田口氏からの寄付金 1,000,000 円については、一般財源とは区別し、目的用途に使用する資金として預り金計上している旨を説明した。

(板橋)

以上をもって、明細書の確認を終了することを確認した。

続いて、資料⑤「令和 7 年 大会精算書」について確認を行った。

(石井)

大会ごとに収支結果が異なることを説明した。

主な黒字大会として、県知事杯、スリークッション国体予選、BC ペアバトル、KBA 杯を挙げた。

一方で、赤字大会として、ジュニアインボール、若葉カップ、スリークッションフェスティバルを挙げた。

若葉カップについては中止となり、今後開催しない予定である旨を説明した。

協会の大会は収益性だけでなく、普及、競技振興、交流促進等の目的も踏まえて実施している旨を説明した。

ジュニアインボールについては、NBA 助成金制度を活用しながら実施した旨を説明した。

(黒岩)

女子ポケットの国体予選が大会精算書に含まれているか確認した。

(石井)

女子ポケットの国体予選については、KPBA が大会を実施しており、エントリー費および運営費等は KPBA の収支として処理されているため、KBA の大会精算書には含まれていない旨を説明した。

今後、実施方法を変更する場合は、KPBA と相談しながら進めることになることを説明した。

(板橋)

続いて、資料⑥「令和 7 年 Jr.9 ボール大会精算書」について確認を行った。

(板橋)

ガールズの出場料収入欄に数字が入っていない理由について確認した。

(石井)

ガールズについてはエントリーフィーを無料としているため、試合は実施しているが収入はなく、支出のみの状態になっている旨を説明した。

これは例年のジュニアナインボールの実施方法であると説明した。

また、ガールズおよび本戦については、NBA 助成金により費用が支払われている旨を説明した。

質疑応答のうえ、令和 7 年度決算内容について確認した。

議題 2 会計監査報告 (説明：杉万)

■ 発言内容

(杉万)

5 月 1 日に事務局へ赴き、会計監査として現預金および会計資料等を確認した旨を報告した。

確認の結果、適正に処理されており、特に問題は認められなかった旨を報告した。

(板橋)

会計監査報告を受け、令和 7 年度決算について採決を行い、承認可決されたものとする旨を確認した。

■ 結論

・会計監査の結果、現預金および会計資料等は適正に処理されており、特に問題は認められないことを確認した。

・令和 7 年度決算は承認可決された。

議題 3 令和 8 年度予算案 (説明：石井)

■ 発言内容

(板橋)

資料⑦「令和 8 年 予算案」について、大きく変更した箇所を中心に説明するよう求めた。

(石井)

令和8年度予算案は、見込まれる収入および支出について、現時点の計画をまとめたものであると説明した。

令和7年度の実績および今後の活動予定を踏まえて作成した旨を説明した。

事務局手当については、実際の業務量が増加しているため、令和7年度実績を踏まえ、同程度の実績ベースで予算計上している旨を説明した。

ホームページ費については、前年度に初期投資としてサーバー構築を行ったため、令和8年度は維持費中心の予算としている旨を説明した。

代表補助については、都道府県選手権大会（旧国体）が今年はないため、昨年度より少なく計上している旨を説明した。

ただし、前年度はフィー計上が漏れていたため、実際の負担内容を踏まえて予算計上している旨を説明した。

公益事業費については、普及活動および寄贈活動等を見据えて予算計上している旨を説明した。

繰越金については、前年度繰越金を踏まえた資金計画の中で、協会運営に必要な予算を組んでいる旨を説明した。

(板橋)

予算案について質問を求めた。

そのうえで、財務資料に読み慣れていない出席者もいることを踏まえ、補充説明として、前期繰越金が約3,470,000円であるのに対し、予算上の次期繰越見込みが約3,365,000円であることから、団体財産としては約100,000円減少する見込みである旨を説明した。

そのため、今後、各種対応を行わない場合には、資金規模が縮小する方向にあることを認識しておく必要がある旨を述べた。

今期予算を執行した場合、期末には約3,365,000円となる見込みであり、約100,000円程度減少するという理解でよい旨を確認した。

(板橋)

予算案について、異議がある場合は申し出るよう確認した。

異議の申し出がなかったため、令和8年度予算案は承認可決されたものと認める旨を宣言した。

■ 決定事項

・令和8年度予算案について、令和7年度実績および今後の活動予定を踏まえた内容であることを確認し、異議なく承認可決された。

議題4 その他（年間行事・事業マイルストーン）（説明：石井）

■ 発言内容

(石井)

資料⑧「年間行事」について説明を行った。

令和8年度については、ポケット、スリークッション双方の大会日程、総会、レクリエーション大会等を年間予定として整理している旨を説明した。

主な予定として、KBA 杯、県知事杯、全関東エキサイトスリークッション、神奈川県スリークッションフェスティバル、レクリエーション大会等を実施予定であることを説明した。

続いて、資料⑨「事業マイルストーン」について説明を行った。

大会開催スケジュールに加え、要項作成、ポスター作成、準備工程、各種打合せ等の年間スケジュール管理を行っている旨を説明した。

また、令和 8 年度の重点活動として、

- ・神奈川県教育委員会経由で学校へビリヤード台を設置する活動
- ・藤沢総合高等学校におけるビリヤード授業
- ・市民センターへのビリヤード台設置活動

を予定している旨を説明した。

(板橋)

年間行事、事業マイルストーンについて質問の有無を確認した。

特段の異議・質問はなく、資料⑧および資料⑨について確認を終了した。

5. 議長終了・司会返却

(板橋)

以上をもって、総会資料掲載事項に関する議事を終了した。

出席者への協力に対し謝意を述べ、議事進行を司会へ返却した。

6. 追加報告事項 (司会：石井)

総会資料掲載事項とは別件として、協会役員体制に関する追加報告事項について説明を行った。

- 6-1. 理事 崎村氏の辞任について
- 6-2. 事務局および理事 石井氏の辞任について
- 6-3. 会計監査 杉万氏の辞任について

6-1. 理事 崎村氏の辞任

■発言内容

(石井)

理事 崎村氏より、本日付の辞任届を受領していることを報告した。

(崎村)

年齢的な要因や体力面の負担等も踏まえ、協会活動への関与をこれまでと同じ形で継続することが難しくなってきたため、理事を辞任する判断に至った旨を説明した。

また、自身が加盟をお願いしてきた加盟店舗や関係者に対し、先に辞任することへの心苦しさがあることを述べた。

一方で、現在の状況を総合的に考えた結果、一つの区切りとして辞任を決断したこと、これまで協会活動に関わる中で支援および協力をいただいた加盟店舗、会員、関係者に対し、感謝の意を述べた。

6-2. 事務局および理事 石井氏の辞任

■発言内容

(石井)

自身について、KBA 理事および事務局の役職を令和 8 年 6 月 30 日付で辞任する意向であることを報告した。

本件については、理事会内部のみの話ではなく、長年事務局として関わってきた立場として、会員および加盟店舗に対して総会という正式な場で直接説明すべき事項と考え、本日説明を行っている旨を述べた。

辞任理由について、以前より心身の不調が続いており、現在の体調、生活状況、店舗運営との両立等を総合的に勘案した結果、従来と同様の形で協会業務に伴う責任および負担を継続して担うことが困難と判断した旨を説明した。

正式な辞任届については、総会終了後、理事長および理事へ提出予定であることを報告した。

また、辞任後についても一定期間、後任への引継ぎ期間を設け、必要な説明、情報共有、資料整理等を行う予定であることを説明した。

会員、加盟店舗および関係者への感謝を述べた。

6-3. 会計監査 杉万氏の辞任

■発言内容

(石井)

前回理事会において、杉万氏より会計監査辞任の報告を受けていることを説明した。

(杉万)

現在、会計監査を務める一方で、事務局補助業務にも関わっている状況について、コンプライアンス上の問題があるのではないかと認識を説明した。

事務局補助業務と監査業務を並行して担うことについて、利益相反に該当する可能性があるとの考えに至ったため、会計監査を辞任する意向であることを説明した。

また、事務局補助業務についても、石井氏の辞任に伴い、自身の業務内容が石井氏との連携を前提とした部分が多いことから、従来と同じ形で継続することは難しいと判断し、石井氏と同日付で一区切りとする予定である旨を説明した。

一方で、今後については、賛助会員として、微力ながら協力を続けていきたい旨を述べた。

これまで協会活動に関わる中で支援および協力をいただいた関係者に対し、感謝の意を述べた。

7. 理事長挨拶・閉会

(安藤)

総会参加者に対し、出席および日頃の協会活動への協力について謝意を述べた。

また、協会運営においては、役員や事務局体制を含め、一定の新陳代謝が必要であり、長く同じ体制で継続するだけでなく、新しい人材や新しい考え方が入っていくことも重要であるとの考えを述べた。

今回の役員辞任等についても、協会運営の変化や組織の節目として受け止める必要がある旨を述べ、今後も協会活動、大会運営、普及活動を継続していくため、会員、加盟店舗、関係者の理解と協力をお願いしたい旨の挨拶を行った。

(石井)

理事長挨拶終了後、出席者への謝意を述べ、令和8年度 神奈川県ビリヤード協会 定時総会を終了した。

以上

